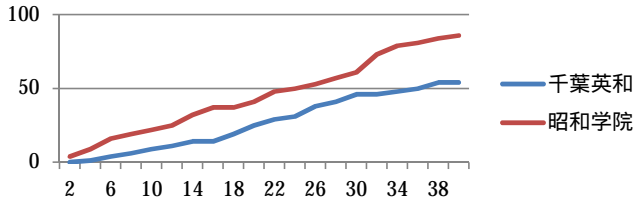


ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その2

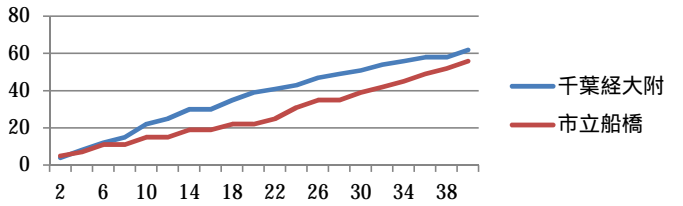
2015/6/21

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A1	242	女 千葉英和	9	16	21	8		54
	201	昭和学院	22	19	20	25		86



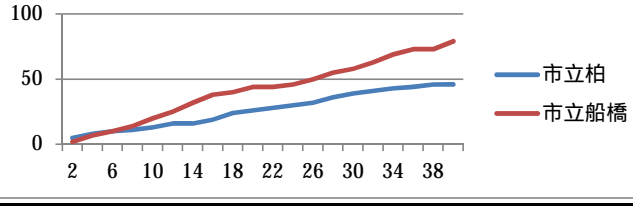
前半は互いマンツーマンディフェンス。昭和はセンターを起点に点数を重ねるのに対し、英和は昭和の粘り強いディフェンスに苦しみ、点が入らない。英和はディフェンスをマンツーマンから3-2のゾーンに変えるが昭和の外からのシュートが入り、点差は縮まらず前半が終了。後半に入り、互いにチームファウルが重なり、攻めの起点となっていた昭和#5が4ファウルでベンチに下がり、流れが英和に変わる。しかし、最終ピリオドに入ると、昭和のディフェンスプレッシャーに負け、86-54で昭和が勝利。全勝でインターハイ出場を決めた。昨年度に続きインターハイでの活躍を期待したい。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B1	282	女 千葉経大附	22	17	11	11		61
	222	市立船橋	15	7	17	17		56



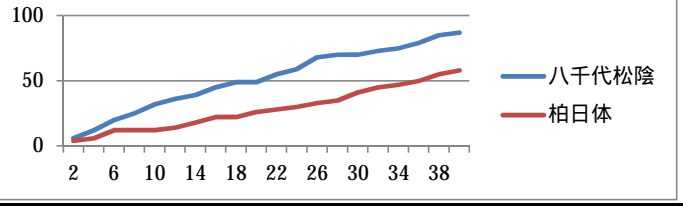
前半は千葉経済の#10、#15がインサイドで得点を重ねる。市立船橋はゾーンディフェンスに変え激しいディフェンスをするが、39-22と差が縮まらずにハーフタイムを迎える。後半に入り、千葉経済は落ち着いたプレーをするものの、プレッシャーにより点が伸びなくなってきた。12点差で最終ピリオドを迎える。市立船橋が粘り強い攻めをみせ、残り2分で6点差まで追いつく。最終的に4点差まで追いつくも、ファウルが重なり、千葉経済の確実なフリースローで追いつくことができず62-56で試合終了。千葉経済は石川インターハイ以来のインターハイへの切符を手中におさめた。本大会での健闘を祈る。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A2	142	男 市立柏	13	13	13	7		46
	101	市立船橋	20	24	14	21		79



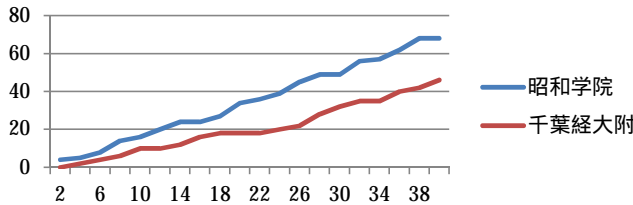
1Qはお互い堅守で一進一退のこうぼうが続く、13-20と市船リードで終了。2Q開始早々、キャプテン#4のシュートが決まり、勢いに乗った市船がリードし、点差が20点差に広がった。一方、市柏は、市船の激しいディフェンスに苦戦し、点差が伸びない。3Q後半、市柏がオールコートゾーンプレスに変えるが、差は縮まらない。4Qに入っても、市船の勢いはとまらず、46-79で市船が勝利した。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B2	182	男 八千代松陰	32	17	21	17		87
	141	柏日体	12	14	15	17		58



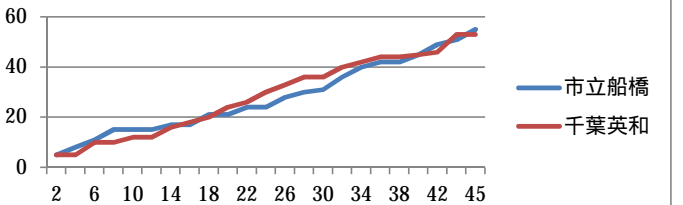
立ち上がり、互いにマンツーマンでスタート。八千代松陰の3Pが連続で決まり流れに乗る。2Qで柏日体はバスマス、ファンブルが目立ちなかなかシュートにつながらない。八千代松陰は速攻で更に波に乗る。3Q、柏日体が1-3-1に切り替えるが八千代松陰はうまく崩し点差が29点まで開いた。4Qに入りお互いに激しいディフェンスを応酬となるが、点差は縮まらず八千代松陰が勝利。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A3	201	女 昭和学院	16	18	15	19		68
	282	千葉経大附	10	8	14	14		46



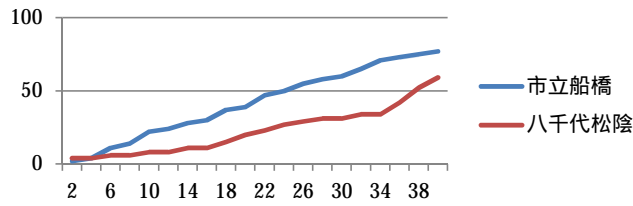
両チームマンツーマンディフェンスで試合開始。1Qは点差はあまりなかったが、2Qから昭和の攻撃時間が増え、千葉経済はディフェンスでプレッシャーをかけるが、昭和が落ち着いてシュートを決め、徐々に点差をつけ前半終了。後半では、昭和のセンター陣のシュート率が悪くなる。それに対し、千葉経済は連続で点を決める。点差を締めようと、積極的にゴールに向かうが、点差は縮まらず、試合終了。昭和は三勝し、インターハイ出場が決した。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B3	222	女 市立船橋	15	6	10	14	10	55
	242	千葉英和	12	12	12	9	8	53



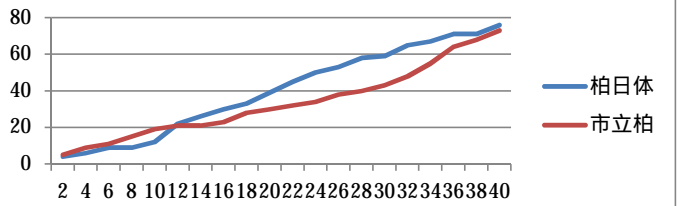
立ち上がりはお互いマンツーマンディフェンス。市立船橋が先行する形となる。2Qに入り、千葉英和は、激しいディフェンスから#5のインサイドで得点を重ね、リードを奪い、逆に市立船橋が追いかける形となった。3Qは、お互いシュートが入らなくなり、千葉英和が5点差リードで最終ピリオドを迎える。残り2分、市立船橋の#7のドライブシュートが決まり、同点に追いつく。しかし、両者激しいディフェンスをして、45-45で延長戦へ突入する。お互いファウルを重ね、フリースローとなる。千葉英和が落ち着いたプレーをして、2点リードするが、市立船橋の#4がフリースローを確実に決め、さらに、ドライブシュートを外すも、自分でリバウンドシュートを決め、55-53で試合終了。劇的な幕切れとなった。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A4	101	男 市立船橋	22	17	21	17		77
	182	八千代松陰	8	12	11	28		59



インターハイ出場を決めている市立船橋と八千代松陰との対戦は、安定した実力を見せた市立船橋が全勝で締めくくった。序盤からシュートがなかなか決まらない八千代松陰に対し市立船橋は#8のアウトサイドシュートを中心に加点をいき前半19点のリードを奪い終了。後半に入っても流れは変わらず市立船橋がリードを広げる。試合終盤、八千代松陰が意地を見せるも、落ち着いた試合運びをした市立船橋が勝利した。両チームのインターハイでの活躍を期待し千葉県予選は幕を閉じた。両チームの健闘を祈る。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B4	141	男 柏日体	12	27	20	17		76
	142	市立柏	19	11	13	30		73



市立柏ボールからのスタート。パスカットやリバウンドからの速攻で点を重ねる。それに対し、柏日体は、外からのシュートが決まらず、市立柏が7点差でリード。だが、2Qで市立柏のミスが増え、流れは柏日体へ。市立柏はディフェンスをゾーンに変えるが、柏日体の3Pが入りだし、逆転を許し、前半終了。3Qでは、市立柏が速攻で点をとるが、柏日体の3Pで差が縮まらない。点差は、16点差までひらく。4Qの後半、市立柏が3Pを連続で決め、流れが変わる。柏日体のファウルが重なり、更に点差が縮まる。最後まで接戦だったが、3点差で柏日体の勝利。